

# スマートシティ施策のロジックモデルの見直しについて



令和3年11月15日  
内閣府

# スマートシティのロジックモデル構築に向けたアプローチ

※本資料の内容は現在検討中であり今後変更が生じる可能性がある

## a. 目的

- ・ EBPMに基づきスマートシティのロジックモデルを構築することで、ワイスペンディングの徹底・経済財政一体改革を推進
- ・ 100のスマートシティの創出に向けた実施施策の適切な誘導

## b. 対象

- ・ スマートシティに関する施策が、ロジックモデルの構築に向けた検討対象
- ・ 検討対象となるスマートシティの定義は、スマートシティ・ガイドブックを準用

## c. 検討手法（国のスマートシティ施策に基づく評価指標の設定）

### 1) 評価分類/分野の設定

- ・ 国や地方公共団体で行っているスマートシティ関連施策や、スーパーシティ応募自治体の提案内容、また国内外の既存指標の分類/分野（OECD、CASBEEやLEED等）を総合的に勘案し、新たな評価分類/分野を設定する。

### 2) 施策・指標の整理

- ・ 既存施策や指標（国の施策や地方公共団体の事例、国内外の既存指標等）について、対応関係や関連性等により整理

### 3) ロジックモデルを設定

- ・ ロジックモデルを考案、設定する。

### 4) 評価指標およびKPIを設定

- ・ アウトプット、アウトカムに関する評価指標とKPIを設定する。
- ・ 他施策等の既存評価指標で同様の評価が行われている場合は、可能な限り同じKPIを採用する。
- ・ データ取得の負荷を下げ、また評価の相互乗り入れがしやすくなることが期待される。

※別途、地方公共団体がロジックモデルを描けるように誘導する策も検討（KPIの設定指針、KPI設定ケーススタディ、選択制指標など）

# (参考) スマートシティの定義等

※本資料の内容は現在検討中であり今後変更が生じる可能性がある

## 【スマートシティの定義】 (出典: 内閣府「スマートシティ・ガイドブック第1版Ver.1.00」)

3つの基本理念、5つの基本原則に基づき

ICT 等の新技術や官民各種のデータを活用した

**市民一人一人に寄り添ったサービスの提供**や、

各種分野における**マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化**等により

都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける

**持続可能な都市や地域**であり、**Society 5.0の先行的な実現の場**

コンセプト

手段

動作

状態

## (参考) スマートシティの基本理念・原則

### 【3つの基本理念】

- ・ 市民（利用者）中心主義
- ・ ビジョン・課題フォーカス
- ・ 分野間・都市間連携の重視

### 【5つの基本原則】

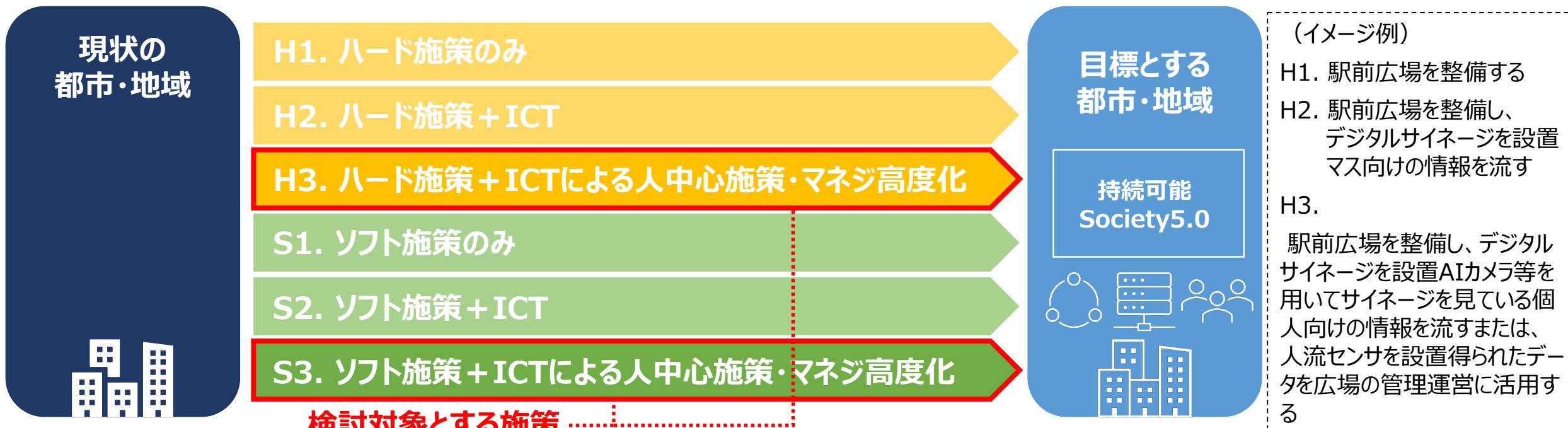
- ・ 公平性・包摂性の確保
- ・ プライバシーの確保
- ・ 相互運用性・オープン性・透明性の確保
- ・ セキュリティ・レジリエンシーの確保
- ・ 運営面、資金面での持続可能性の確保

# 検討対象とするスマートシティ施策の考え方

※本資料の内容は現在検討中であり今後変更が生じる可能性がある

## 【検討対象とするスマートシティ施策の要点】

- ① 施策の目的が、「持続可能な都市・地域の実現」または「Society5.0の実現」に明確につながる内容であること
- ② ICT等の新技術や官民各種データを活用することにより、  
市民一人一人に寄り添ったサービスの提供や、  
都市・地域に対してマネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化がなされる施策  
またはその基盤を形成する施策であること



対象外：基礎研究段階の施策、都市・地域に関わらない施策等

# スマートシティロジックモデル（案）の評価分類/分野

※本資料の内容は現在検討中であり今後変更が生じる可能性がある

大分類	評価分野	副分野（例）
基盤	<b>IT基盤</b>	都市OS、データ連携基盤、デジタル通信網、オープンデータ、3D都市モデル、データガバナンス、アクセシビリティ
	<b>運営体制</b>	官民連携、住民参画、運営のオープン性・透明性、マネタイズ
	<b>人材</b>	スマートシティ人材育成・活用、リテラシー／デジタルデバイド対策
サービス	<b>モビリティ</b>	交通／モビリティ、物流、交通拠点
	<b>環境／エネルギー</b>	環境、エネルギー、水資源、廃棄物
	<b>防災／防犯</b>	防災、防犯
	<b>インフラ／施設</b>	インフラ維持管理、都市計画・整備、施設マネジメント、住宅、建設、不動産
	<b>健康／医療</b>	健康、医療、介護
	<b>産業／経済</b>	農林水産業、観光、地域経済活性化、産業創出、産学連携、デジタル通貨・決済、働き方
	<b>社会</b>	地域コミュニティ形成、地域自治、社会活動
	<b>教育／文化</b>	教育、子育て、文化・アート
	<b>行政</b>	e-サービス、デジタル運営、セキュリティ

※官民連携PF参加団体や海外動向を含めた他の指標において用いられている評価分類/分野を参照

# スマートシティロジックモデルの全体像（関係性）

※本資料の内容は現在検討中であり今後変更が生じる可能性がある

## 広義のインプット（施策, 取組）

### 基盤

インプット  
(施策, 取組)

(例)  
都市OSの連携  
推進 (IT基盤)

アウトプット

(例)  
都市OSの  
連携増加

アウトカム  
第1段階

(例)  
都市OSの導入  
効率向上 (コス  
ト削減)

アウトカム  
第2段階

(例)  
都市OSの導入  
自治体増加

アウトカム  
第3段階

(例)  
スマートシティ  
のサービス  
提供基盤が整う

## 広義のアウトプット

## アウトカム

「基盤」分野の施策,取組のアウトカムは  
「サービス」分野のインプットに繋がる

インプット  
(施策, 取組)

アウトプット

アウトカム  
第1段階

アウトカム  
第2段階

アウトカム  
第3段階